



(福岡)

本調査地は、埋没地形で
ある砂丘間低地（旧河道）
上にあたり、鎌倉時代以前

福岡・博多遺跡群

はかたいせきぐん

1 所在地 福岡市博多区中呉服町
2 調査期間 第一〇〇次調査 一九九六年（平8）一〇月～一月

一月

8 木簡の釀文・内容

(1) 「一 □ □

一 □ □ □
〔三カ〕 やうくろこめ □

(165) × (20) × 25 81

3 発掘機関 福岡市教育委員会
4 調査担当者 大庭康時
5 遺跡の種類 中世都市
6 遺跡の年代 弥生時代中期～現代
7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

博多遺跡群は、博多湾に面して形成された砂丘上に位置する複合遺跡である。遺跡群全体の時期としては、弥生時代中期から現代に及ぶが、古代末から中世にかけての対中國・対朝鮮の貿易拠点として著名である。

には遺構は営まれていない。一四世紀前半頃に、幅2m程の溝が掘られ、以後土坑・柱穴などがみられるようになる。この溝は掘り直しを重ねながら、一六世紀まで続いている。

木簡は、溝の下層の黒色泥土中から出土した。おおむね一四世紀前半頃の遺物と考えている。一点のみの出土である。

